



いまこそ教養！



# 「名作文庫」通信



新刊案内	.....	P1
特集展示【恋心】	.....	P2
作家紹介【スタンダード】	.....	P3-P4
名作文庫いざない回書	.....	P5-P6

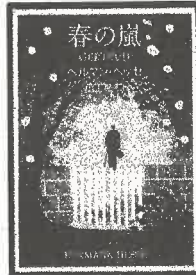


## 平成 30 年 冬号



# 特集 「恋ごころ」

相手の言葉や態度に、天にも昇るような気持ちになったり、地獄に突き落とされたり…。時代や背景や国は違えど、抗えない情熱や切なく刺さる胸の痛みは、誰もが経験があるのでは…？



## 【はっ恋】

ツルゲーネフ／著 神西清／訳 新潮文庫／刊

年上の令嬢ジナイダに生まれて初めての恋をした十六歳のウラジミール。何もかもが初めてのつたない恋は惨めで痛ましく、「初恋」の光と影が表現された、静かな哀愁が漂う良作。

## 【春の嵐】

ヘッセ／著 高橋健二／訳 新潮文庫／刊

若気の至りの暴走の末、片足が不自由になった音楽家クーン。孤独な彼の前に現れた運命の女性はクーンの親友と結婚してしまう…。人生の孤独も苦しみも、全てが尊く美しいと思える傑作。

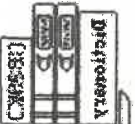
## 【野菊の墓】

伊藤 佐千夫／著 新潮文庫／刊

十五歳の政夫と二つ年上の従姉、民子との間に芽ばえた幼い恋は、世間体を気にする大人たちに無情に引き離されてしまう。数年後、帰省した政夫が見たものは…。儚く切ない少年の純愛物語。

# 新しく入った本

こちらで紹介しているのは所蔵図書の一部です。



## 【死に至る病】

セーレン・キェルケゴール／著

鈴木 祐丞／訳 講談社学術文庫／刊

「死に至る病」とは「絶望」のことである。哲学者キェルケゴールは絶望に陥った人間の心理を、奥深いひだにまで入って考察する。後にくる実存哲学への道をひらいた歴史的著作。



## 【蠅の王】

ウィリアム・ゴールディング／著

黒原 敏行／訳 ハヤカワ epi 文庫／刊

未来における大戦のさなか、攻撃を受け孤島に不時着した少年たちは、大人のいない世界で生活を送ることに…。しだいに、心に巣食う獣性にめざめた少年たちは、激しい内部対立から陰惨な闘争へと駆りたてられてゆく…。



## 【春琴抄】

谷崎潤一郎／著 新潮文庫／刊

美しく残忍な盲目の三味線師匠「春琴」と、春琴に付き添う奉公人「佐助」の特異な関係性を描く。美しすぎる谷崎の文章が、思考と官能が融合した耽美的な世界へ読者をいざなう。

# スタンダール

## 今号の作家紹介

スタンダール (Stendhal)

本名：マリ=アンリ・ベール (Marie Henri Beyle)

1783年1月23日 - 1842年3月23日

フランスの写実主義を代表する小説家。『恋愛論』、『赤と黒』など邦訳も多数あり、日本でも愛される文豪の一人。軍人としての経歴を持ち、任地として赴いたイタリアをこよなく愛した。ナポレオン体制の官僚であったが、彼の敗戦とともに没落。一時はフリーのジャーナリストにもなる。三十代以降に小説を執筆し始める。「ミラノ人アツリゴ・ベイレ」書いた「愛した 生きた」という墓碑銘は今も名高い。

### なぜこの作家がすごいのか？

小説家として知られるが、音楽、美術についての造詣も深く、多くの評論も残している。特に恋愛についての考察は深く『恋愛論』では「結晶化作用」など独自の理論が展開される。当時からすでに、ゲームとしての恋愛の愉しみを描き、主人公と彼を取り巻く女性たちとの関係を巧みに描き切った。二百年以上も前に書かれた小説だが、そこに描かれる男女の心の機微は、現代の恋愛観としても十分に通用する。



### 青年の野望と恋愛



スタンダール／著  
小林 正／訳  
新潮文庫／刊

#### 「赤と黒 上・下」

主人公は庶民として生まれたが、教育を受けて野望を抱いた一人の美青年。彼はナポレオンのような英雄に憧れるが、時流に合わせて赤（軍人）ではなく黒（僧侶）の世界で名を成そうと決心する。貧しい出自に負い目を感じる青年の繰り広げる、貴族の夫人との愛憎劇。その後赴任したパリでは、侯爵令嬢との恋の駆け引き。情熱と野望に燃える若者たちの行く末は…？  
実際の出来事をモデルに、著者自身の経験も色濃く映した傑作。

### 甘く苦い大人の恋



スタンダール／著  
大岡 昇平／訳  
新潮文庫／刊

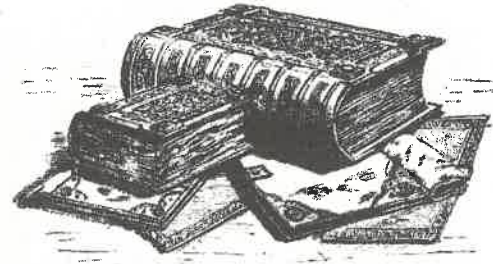
#### 「パルムの僧院 上・下」

主人公はイタリア大貴族の次男。「幸福の追求」に生命を賭け、ナポレオンを崇拜し、ウァテルローの戦いに従軍する。些細なことから殺人犯として投獄され、政治的な思惑から暗殺されそうになるなど、運命に翻弄される主人公。彼との恋に身を焦がした女性達の情熱と自己犠牲性が物語を彩る。中世の宮廷に生きる人々の情熱と野望を鮮やかに描き出す、著者晩年の傑作。

恋の情熱と野望の天秤はどう傾くのか？  
世界に愛される文豪が描く愛憎劇の結末は…？

# 名作文庫「いざない」現代図書

名作文庫は敷居が高い、難しそう、などなど…今まで名作文庫を読んだことのない方や、もっと名作文庫を楽しみたい方に、名作文庫にいざなう現代本を紹介します。



## おすすめいざない図書 「運命の恋をかなえる スタンダール」

水野敬也／著 文響社／刊



『夢をかなえるゾウ』の著者・水野敬也が、スタンダールの著書『恋愛論』を現代仕立てにアレンジした恋愛指南書。

### 【あらすじ】

図書館司書の万平聡子は、幼少期に父が起こした事件がトラウマとなり、三十路を越えても現実の恋愛に踏み出すことができないまま。自宅で本を読みながら、恋の妄想をする時間だけが唯一の安らぎだった。そんなある日、図書館で働いていた聡子の前に理想にぴったりの男性が現れる。いつもの通り行動に移せないでいる聡子だったが、本の中からフランスの文豪「スタンダール」を名乗る初老の男性が現れ、聡子の身に次々と奇跡が起きていく…。

200年前のフランスに生きた文豪スタンダールが考えた「恋愛」とは？

### 【恋愛論第十章】

恋が生まれるまでは、美は看板として必要である。

### 【恋愛論第十章】

恋愛において、男はあまりにも容易な成功を軽蔑する。男は向こうからくるものをありがたがらないものである。

### 【恋愛論第五十九章】

恋を冷静に考え、恋の成就を日常茶飯事にしてしまったドンファンよりも、好きな女を妄想し、その女に近づけば震え、不安になってしまつウエルテルの方が幸福である。なぜならウエルテルは恋する女への結晶作用の中で生きる事ができるからだ。

## いざない本の中で紹介されている本

### 【恋愛論(上)(下)】

スタンダール／著 杉本 圭子／訳 岩波文庫／刊

自らの体験にもとづいて、すべての恋愛を「情熱的恋愛」「趣味恋愛」「肉体的恋愛」「虚栄恋愛」の四種類に分類し、恋の発生、男女における発生の違い、結晶作用、雷の一撃、羞恥心、嫉妬、闘争などのあらゆる様相を、さまざまな興味ある挿話を加えて描きだし、各国、各時代の恋愛について語っている。





# SHIMOIGUSA LIBRARY



下井草図書館には、「名作文庫」の棚があります。  
一度は読んでおきたい、古今東西の名著名作を、  
文庫版、新書版で集めた本棚です。



季刊名作文庫通信 3.6.9.12月発行

MASTERPIECE COLLECTION

